



えんだより



2022年11月
吉野幼稚園

主 題：「感謝する」

聖書のことば：「成長させてくださったのは神です」(第1コリント3：6)

コロナ禍の下での時間短縮や種目の見直し、また天気も心配されるなど懸案事項の多かった運動会でしたが、なんとか雨も降らず予定通り実施することができました。当日は、子どもたちは大変よく頑張りました。多くの保護者の方々にお越しいただき、園児への応援や運動会の運営等にご協力いただき、無事終了することができました。誠にありがとうございました。大きな行事も一つ終わり、少しほっとしているところです。

さて、今回は「**敏感期の極み、集中現象とは**」という話です。幼稚園でのおしごとのひとつに、ピンセットでスポンジの玉をつまみ、四角のトレーに色別に移すという単純作業があります。このおしごとをしている子どもは、大変集中して取り組んでいます。ときには、一言もしゃべらず、周りの様子も見えないかのように、集中して取り組んでいます。そして、全部の玉を移して、おしごとをやり終えた時に見せた、さわやかな笑顔、とても素晴らしいです。

運動や言語、秩序、感覚などさまざまな敏感期が、現れては消えていくのですが、そのほとんどが0～6歳の乳幼児期に集中しているのです。この敏感期をそれぞれ充実して過ごすことで、その先の人生に必要な80%の能力を獲得しているのです。

以上のように、これまで数回にわたりお話しさせていただいた「敏感期」ですが、一人一人の子供の成長過程に即したその子の敏感期にそれぞれの適切な対応をとるということで、素晴らしい能力や体力、人格が育つということになります。

本園では、以上のことを踏まえ、毎日の「おしごと」をはじめとして、モンテッソーリ教育を進めています。幼稚園での活動と家庭での生活で、一人一人の子どもの興味・関心を生かした教育ができるように今後とも進めていきたいと思えます。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、素晴らしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

11月のねらい

- Aグループ・クリスマスの意味を知り、聖劇で演じる自分の役を、心を込めて準備する。
- Bグループ・発表会の練習を通して、劇のイメージを膨らませ自分の役や、みんなで協力し達成感を味わう。
- CDグループ・音楽に合わせて表現したり、役を演じたりする楽しさを味わう。
- つぼみ・簡単な身の回りのことを自分でできる喜びを感じ、自分でしようとする。